

コミュニティ・スクール 実践集2022



令和5(2023)年3月
名張市教育委員会

目 次

名張版コミュニティ・スクール	・・・	1
コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへ	・・・	5
名張版コミュニティ・スクールの取組		
■名張小学校 学校運営協議会	・・・	8
■蔵持小学校 学校運営協議会	・・・	11
■薦原小学校 学校運営協議会	・・・	15
■比奈知小学校 学校運営協議会	・・・	19
■美旗小学校 学校運営協議会	・・・	22
■箕曲小学校 学校運営協議会	・・・	25
■錦生赤目小学校 学校運営協議会	・・・	28
■桔梗が丘小学校 学校運営協議会	・・・	31
■桔梗が丘南小学校 学校運営協議会	・・・	34
■桔梗が丘東小学校 学校運営協議会	・・・	38
■すずらん台小学校 学校運営協議会	・・・	41
■梅が丘小学校 学校運営協議会	・・・	46
■百合が丘小学校 学校運営協議会	・・・	49
■名張中学校 学校運営協議会	・・・	52
■赤目中学校 学校運営協議会	・・・	58
■桔梗が丘中学校 学校運営協議会	・・・	62
■北中学校 学校運営協議会	・・・	64
■南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）学校運営協議会	・・・	67
付録：コミュニティ・スクールだより	・・・	72

はじめに

名張市では、令和3年3月に策定した「第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画」において、「名張版コミュニティ・スクールの推進・充実」を重点取組の一つとして掲げて取組を進めており、市内全ての小中学校が学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）として、本年度で3年目を迎えました。

度重なる新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、これまで本市が取り組んできた様々な事業や活動に制限が求められ、コミュニティ・スクールの推進にも大きな影響がありました。本年度は様々な活動の制限が少しずつ緩和される中で、地域の方々からは、「子どもたちの声が聞けないということはこれほど寂しいことだと、改めて気付かされました。」「早くもっと自由に活動したい。」といった声が聞かれました。市内小中学校においては、学校における感染拡大の防止と学校教育活動の継続を両立させ、児童生徒の充実した学校生活の実現に向けて、地域の方々と保護者等が児童生徒に直接関わる活動を少しずつ再開させていく動きを取るようになりました。特に、令和4年11月19日（土）に実施された名張市総合防災訓練では、市内の全ての中学校が地域と連携・協働した活動をするとともに、一部の中学校区では小学生も活動に参加することができました。学校運営協議会委員からは「子どもたちが防災訓練に参加することで、大人の意識が変わってきた。」「より充実した訓練にするために、子どもたちの意見も訓練にいかしていきたい。」という声が聞かれるなど、コロナ禍において様々な制限がある中でも、コミュニティ・スクールに関わる当事者としての意識の高まりや学校と地域が一体となった子どもを核とした協働活動の実現につなげることができました。

人と人との出会いの大切さに改めて気付かされた今、コミュニティ・スクールを一層推進していく良い機会と捉え、学校と地域が連携・協働した取組を推進・充実させていくことが重要であると考えます。

この「コミュニティ・スクール実践集2022」は、本年度のコミュニティ・スクールの特色ある実践を集めたものです。コロナを経験した今だからこそ、様々な工夫をしながら取り組んだ各校の実践に学び、来年度以降の取組をどのように進めていくのかをともに考えていきたいと思えます。

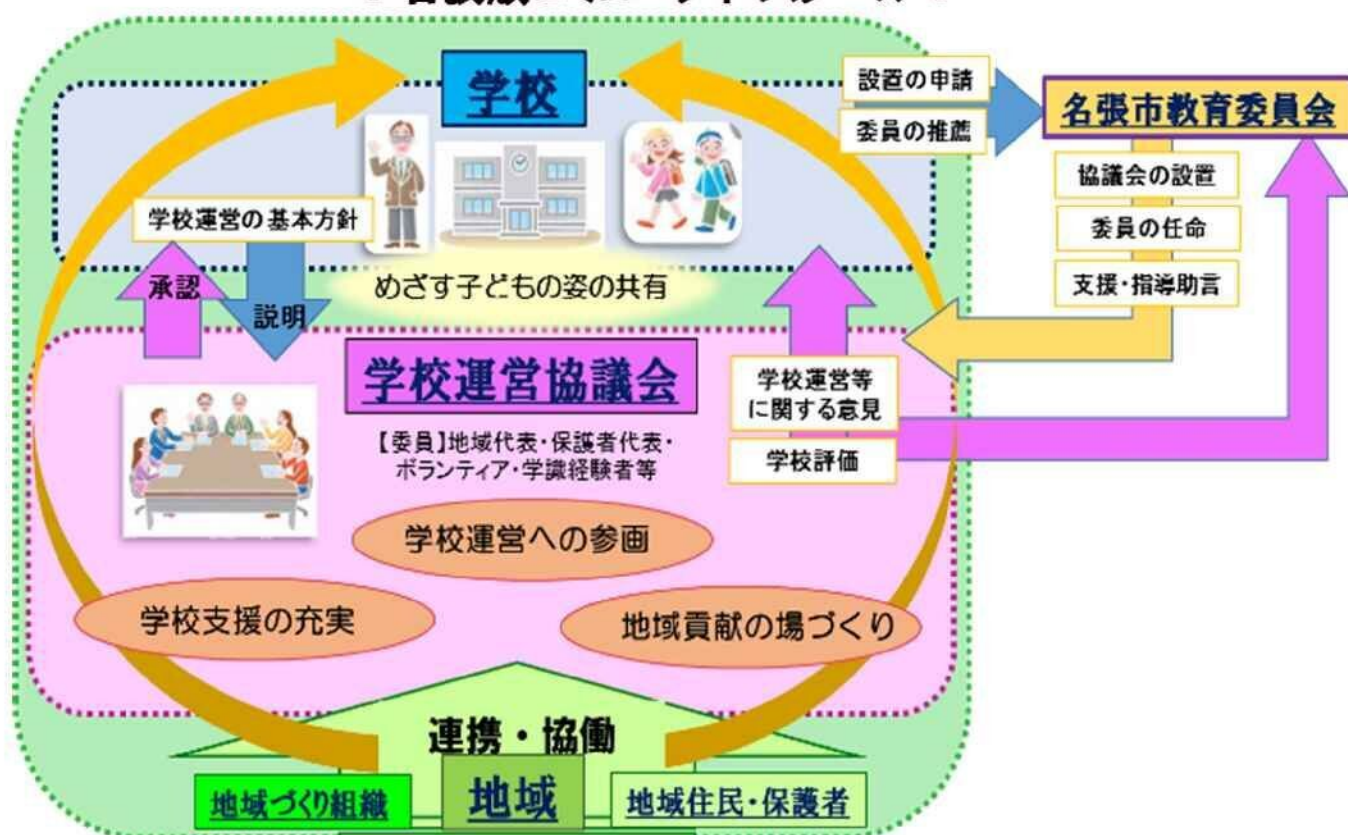
令和5年3月
名張市教育委員会

名張版コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、未来を担う子どもたちの豊かな成長のために学校・地域・保護者が連携・協働し、それぞれが、自分たちに何ができるか当事者意識をもって子どもたちの成長を支えていく仕組みです。子どもを取り巻く環境は今後、大きく変化していくものと考えられ、これからの時代を生きる子どもは、一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的にたくましく切り拓いていく力や人と繋がり、共に学び合い、支え合っ
て豊かな未来の社会を築いていく力が求められます。

名張市では、市内すべての小中学校が学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）です。名張版コミュニティ・スクールの特徴は、「学校運営」「学校支援」「地域貢献」を3つの柱として取組を進めていることです。それぞれのコミュニティ・スクールでは、学校・保護者・地域住民が、めざす子どもの姿を共有し、地域の子どもの「学び」と「育ち」に係わる当事者として、連携・協働した取組を実施しています。

名張版コミュニティ・スクール



【名張版コミュニティ・スクール 3つの柱】

① 学校運営への参画

市内のコミュニティ・スクールでは、学校と保護者や地域の皆さんが互いに知恵を出し合い、学校運営へ意見を反映させています。学校運営協議会においてめざす子どもの姿を共有し、課題解決等に向けて教育課程・授業改善・学校評価等の学校運営に参画しています。小中一貫教育カリキュラムである「英語教育」や「ふるさと学習『なばり学』」「キャリア教育」実施への協力など、小中一貫教育の教育活動へも参画しています。

学校運営方針の承認



熟議



ワークショップ形式の熟議



授業公開



ふるさと学習「なばり学」



学校課題についての熟議



② 学校支援の充実

名張市では、平成17年度から学校支援ボランティアの登録制度を設け、平成20年度以降、国の学校支援地域本部事業を受けるなど、学校支援の仕組みを構築してきました。

コミュニティ・スクールの設置により、めざす子どもの姿の実現のための学習支援・部活動支援・環境美化・安全確保支援等の学校支援体制がさらに充実してきています。

学 習 支 援



野 外 活 動 支 援



環 境 整 備 支 援



プ ール 学 習 支 援



読 み 聞 かせ



工 作 体 験 補 助



折 り 紙 体 験 補 助



登 下 校 見 守 り 支 援



学 校 図 書 館 蔵 書 修 理



③ 地域貢献の場づくり

名張市内それぞれの地域づくり組織では、将来計画である「地域ビジョン」を策定しています。「地域ビジョン」には、地域づくり活動への参画や地域の担い手づくりに向けた、さまざまな活動が盛り込まれています。

コミュニティ・スクールでは、「地域ビジョン」を共有し、地域を愛し地域を担う人づくり、地域の絆づくりのため、まちづくり活動への参画や地域と学校合同の防災訓練、地域の清掃活動など、学校の特色を生かした地域貢献の場づくりを行っています。子どもたちが今住んでいる地域のことを知ることは、地域を担う人づくり、絆づくりにつながるとして、地域学習へも積極的に取り組んでいます。

まちづくり活動への参画



地域清掃活動



総合防災訓練



防災ワークショップ



世代間交流音楽会



地域学習



お礼状の贈呈



お礼のお手紙制作



認知症サポーター養成講座



コミュニティ・スクール から スクール・コミュニティへ

コミュニティ・スクールの取組の中で、学校は、地域住民の力をお借りし、地域学習に取り組んでいます。子どもは、農業体験や行事への参加を通して、ふるさとの自然や産業、歴史、文化等に触れるとともに、その学習に係わっていただいた地域の方とふれあい、絆を深める機会を得ています。これからの地域を支える子どもが、小中学生時代に地域の方々と触れ合い、様々な経験をすることは、少子・核家族化が進み異年齢とのコミュニケーションの機会が減っている子どもにとって、とても有意義な機会となっています。



また、地域の方々も、学校教育活動に参加し、ボランティアとして学校支援に携わることで、楽しみややりがいを感じています。さらに、子どもや教職員は、地域の方々から支えられていることを実感し、感謝の気持ちを伝えることができます。卒業した子どもの中には、「地域の方々のように自分も誰かの役に立ちたい」「地域に貢献したい」という思いを持っている子どももいます。



学校という場において、このような温かな交流がもたれていることは、子どもの豊かな心の醸成のためにも地域の人づくりのためにも好影響を与えるものと考えます。

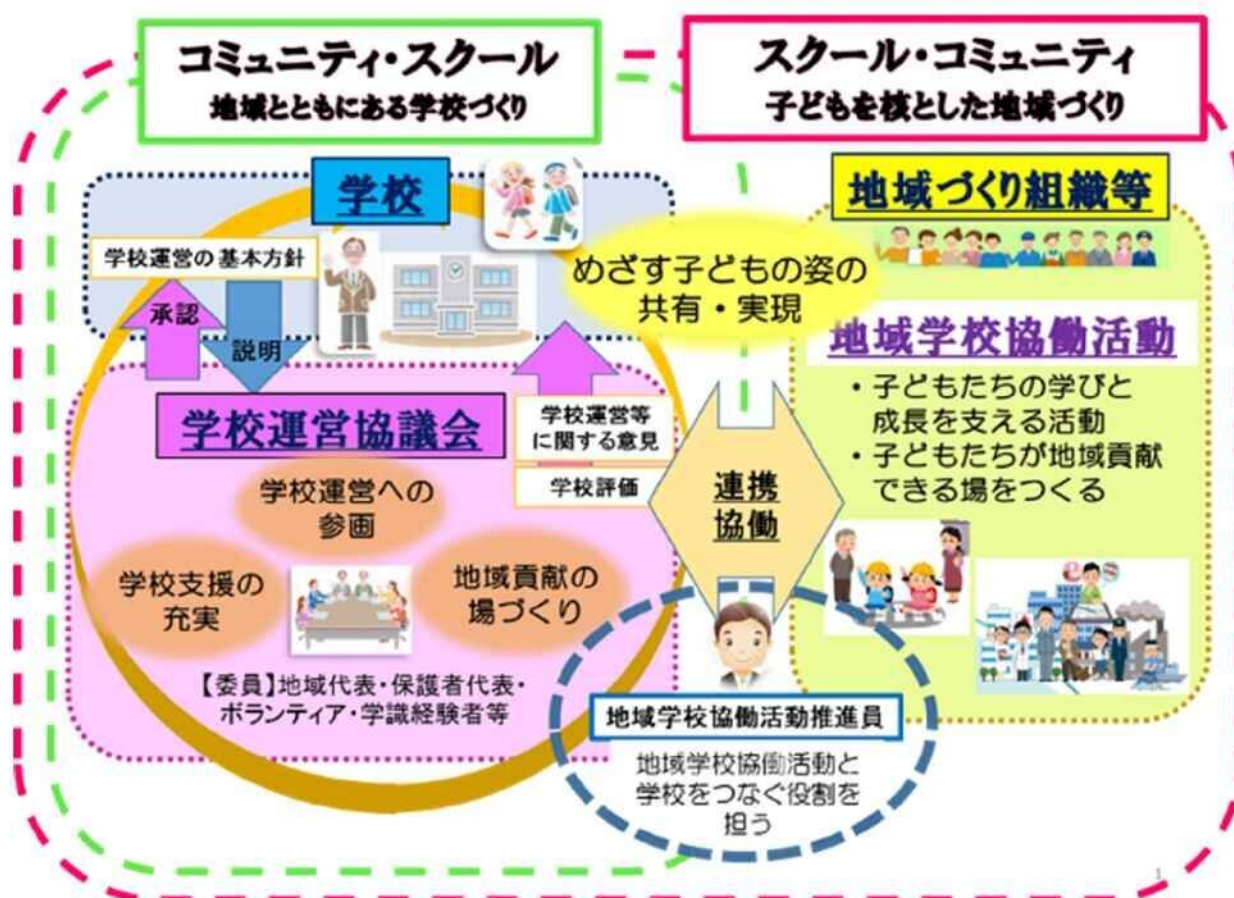


少子高齢化の進行による人口減少社会とともに、グローバル化や急速な技術革新に伴い予測不可能で変化の激しい時代が到来しています。未来を担う子どもの豊かな成長のためには、学校と保護者・地域住民が連携・協働した取組を充実させていくことが必要です。

本市では、学校が主体となって行う教育活動とは別に、地域づくり組織等が学校と連携・協働して「地域学校協働活動」を推進し、コミュニティ・スクールから発展させた子どもを核とした地域づくりである「スクール・コミュニティ」の体制を構築していきたいと考えています。

【スクール・コミュニティとは】

スクール・コミュニティとは、子どもを核とした地域づくりのことです。地域づくり組織等では、これまでも、子どもの健やかな育成をめざした様々な活動を実施していただいています。スクール・コミュニティは、これら子どもたちの学びと成長を支える活動や子どもたちが地域貢献できる活動（※地域学校協働活動）を学校運営協議会と協働して、より充実していこうとする仕組みです。地域学校協働活動を学校運営協議会と連携・協働しながら一体的に推進し、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを持続発展させていこうとする子どもを育成し、地域の活性化をめざします。



【地域学校協働活動とは】

地域学校協働活動とは、「子どもを核とした地域づくり」をめざし、地域住民・保護者等の参画を得て実施する、子どもたちの学びと成長を支える活動や地域貢献活動のことです。

地域学習・職場体験学習

- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする活動。
- ◆地域の産業についての職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習等。

地域の行事等への参画

- ◆地域の行事、イベントへのボランティア参加・企画からの参画。
- ◆伝統行事での伝統文化・芸能の発表。
- ◆地域の防災訓練への参画等。

地域未来塾

- ◆中学生等を対象に、教員OBや高校生・大学生等などの地域住民の協力によって行う学習支援活動。

学校に対する様々な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、本の読み聞かせ、授業補助や部活動の支援、企業等の教育プログラムの提供等。

放課後子供教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後や休日等に行う、学習や体験・交流といった様々な活動。

家庭教育支援活動

- ◆家庭教育について、保護者が学び合う機会づくり等。



名張版コミュニティ・スクールの取組

名張小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月3日（金）14時～16時45分〉

- ① 委嘱状交付
- ② 会長・副会長の選出と学校運営協議会組織について
- ③ 学校経営計画・年間計画の承認
- ④ コミュニティ・スクール推進計画について
- ⑤ 「名小版なばり学」について
- ⑥ 名張小学校創立150周年記念事業について

【第2回】学校運営協議会〈令和4年7月8日（金）18時～19時30分〉

- ① 「名小版なばり学」について：研修担当より、具体的な研修内容の説明
- ② 名張小学校創立150周年記念事業について 第2回準備委員会の報告

【第3回】学校運営協議会〈令和4年9月16日（金）18時～19時30分〉

- ① 「名小版なばり学」について：「名小まつり」実施計画の提案
- ② 名張小学校創立150周年記念事業について：第3回準備委員会の報告

【第4回】学校運営協議会〈令和4年10月21日（金）18時～19時30分〉

- ① 「名小まつり」について：詳細に関する打ち合わせ
 - ・10月30日（日） 名小まつり準備
 - ・10月31日（月） 名小まつり

【第5回】学校運営協議会（令和5年2月15日 水曜日18時～19時30分）

- ① 「名小まつり」の反省
- ② 本年度の総括
- ③ 次年度に向けて

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校経営計画・年間計画の承認をいただくとともに、学校経営の方向性について、情報共有を行いました。
- ② コミュニティ・スクールの推進について、ともに考える場面を設定しました。
- ③ めざす子ども像について提案し、「名小版なばり学」の学習を通して進める、名張を愛する児童の育成について、学校・保護者・地域が協働しての取組について議論しました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校運営協議会評価書」としてまとめました。



③学校運営協議会での議論

(2) 【学校支援の充実】

新型コロナウイルス感染症への対策を講じつつ、なばり学におけるまち探検等の付き添い、家庭科等の教科の支援、本の読み聞かせ、登下校の見守り、名小まつり・入学説明会の受付等の学校行事支援、環境整備の業務支援等の可能なボランティア活動を実施いただきました。



まち探検の付き添い



教科の支援



本の読み聞かせ



登下校の見守り



学校行事支援



環境整備

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 「名小版なばり学」において、地域をよくしていこうとしている人たちに、児童が地域を学ぶ姿を見ていただくことにより、活力を感じていただくことができました。
- ② 「名小版なばり学」における学習の成果を、「なばりのええとこ見つけ隊！」マップとしてまとめたり、ホームページで紹介したりすることにより、観光地名張を広く宣伝し、観光業としての名張の活性化の一翼を担うことができました。
- ③ 地域と協働して名小まつりを開催することにより、名張の活性化につながりました。
- ④ 名張学園祭に、5・6年生の有志が参加し、学習の一端を披露することで、学園祭を盛りあげることにつながりました。
- ⑤ 隠街道市において、クラブ活動の成果物をやなせ宿に展示しました。

3. 成果と課題

【成果】

- ◇「名小版なばり学」において、全校児童が地域を探検することにより、地域の人たちと触れ合う機会が格段に増えました。学校の取組を支援してくださる方が増え、地域と学校の一体感が芽生えつつあります。
- ◇「名小まつり」を学校運営協議会が主体となって行った結果、多くの方の賛同を得て、学校の取組を発信する機会となりました。また、学校運営協議会の組織強化にもつながりました。
- ◇ボランティアの方に、様々な場面で協力いただいたおかげで、子どもたちは安心・安全な活動に取り組むことができました。同時に、教職員の負担軽減にもつながりました。
- ◇名張学園祭や隠街道市への参加で、子どもたちの活動の様子を地域に広く発信することができました。

【課題】

- ◆校内における担当教員は学校運営協議会と十分な連携が取れており、会そのものは前進しています。今後は、コミュニティ・スクールとしての意識の浸透を職員全体へ図るよう努めていきます。
- ◆学校と地域が一体となった各種取組の様子や子どもにつけたい力などを、様々な行事を通して地域へ発信してきました。これをきっかけに、さらに地域への浸透を図り、コミュニティ・スクールとしての位置づけが明確になるよう努めてまいります。
- ◆「名小まつり」については初年度ということもあり、運営にかなりの労力が必要となりました。今後は、行事や熟議を通して、学校と地域で、子どもにつけたい力の共有化を図ると共に、効率的な行事の運営を進めていきます。
- ◆伝統ある地域にあり、地域貢献の場にも大変恵まれています。学校と地域が一体となった取組を進めつつも、働き方改革を念頭に入れ、取組内容を精選し、地域貢献を進めて行く必要があります。
- ◆ボランティアの方の高齢化が進んでおり、後継者の育成を視野に入れ、会の運営をしていく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図

【コミュニティ・スクール構成】



蔵持小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月3日（金）13時45分～16時30分〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付及び会長・副会長選出
- ③ 令和4年度学校運営について
- ④ 「学校・地域 協働活動年間計画」の確認及び今後の活動方針
- ⑤ 情報交換

【第2回】学校運営協議会〈令和4年11月30日（水）13時25分～16時30分〉

- ① 児童集会参観・児童の様子との交流
- ② 学校評価アンケート結果について
- ③ 全国学力・学習状況調査の結果について
- ④ 熟議「学校・家庭・地域ができることは～主体的に行動できる子どもを育てるために～」

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月24日（金）15時00分～16時30分〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 桔梗が丘中学校区小中一貫教育について
- ③ 令和4年度学校評価書について
- ④ 来年度の学校運営について
第2回熟議を受けて「学校・家庭・地域ができることは」次年度の取組
学校・地域協働活動年間計画の修正・確認

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 「学校・家庭・地域ができることは～主体的に行動できる子どもを育てるために～」について、学校運営協議会委員・教職員(計12名)が熟議を行いました。
- ③ 児童・保護者・教職員アンケート結果及び全国学力・学習状況調査の結果からみえてきた課題について共有し、解決策について協議しました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校運営協議会評価書」としてまとめました。



②熟議

(2) 【学校支援の充実】

- ① 3年ぶりのプール水泳実施に向けてのプール清掃に、蔵持消防団、地域ボランティア、PTAの方々に協力いただきました。
- ② PTA環境整備作業へ学校運営協議会委員、地域老人会の寿会及び地域ボランティアの方々が参加いただきました。
- ③ 学校運営協議会委員やボランティアコーディネーターの呼びかけにより、のべ72人の方に運動場除草・植木の剪定、施肥作業をしていただきました。



①プール清掃



②運動場除草



③稲刈り



④蔵持市民センター見学

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 蔵持市民センター祭り展示会に児童の絵画・工作・書写の作品を出品しました。
- ② 蔵持地区まちづくり委員会 安全・防災部会主催の「地域防災教室」に4年生児童が参加しました。
- ③ 「高齢者学級とのZoom交流会」に1年生児童が参加し、昔遊びの発表や昔の暮らしについての質問等、交流を深めました。
- ④ 蔵持市民センター主催の「世代間交流音楽会」を本年度新たに開催し、5年生児童が蔵持こども園児・蔵持寿会女声コーラスとともに、合唱を披露しました。
- ⑤ 蔵持地区まちづくり委員会、緑が丘コミュニティバス運営協議会、三重交通、中部運輸局、三重県バス協会、名張市都市整備計画室の協力を得て、2年生児童が「バスの乗り方教室」に参加した。
- ⑥ 登下校の安全確保や環境整備、米作りや施設見学等でお世話になったボランティアの方々に、学期ごとにお礼の手紙を届けた。



①市民センター祭り展示



②地域防災教室参加



③高齢者学級交流会



④世代間交流音楽会



⑤バスの乗り方教室

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校運営について、幅広い視点での理解ある意見や示唆をいただけたことで、子どもたちの「学び」と「育ち」に係る連携・協働した取組を進めることができました。
- ◇昨年度策定した「学校・地域協働活動年間計画」に基づき、学校と地域が計画的に着実な取組を実施することができました。また、これまでの地域からの子どもたちの活動への支援について、改めて学校運営協議会の活動として整理し直したことで、支援の充実・発展につなげる仕組みづくりにつなげることができました。
- ◇アンケートから見えてきた子どもの課題について、めざす子どもの姿の共有・実現のための熟議を行うことにより、学校運営の当事者としての個々の意識の高まりがみられました。
- ◇熟議に教職員も参加し、共に話し合う場を持てたことで、今後の学校・保護者・地域による協働した取組へつなげることができました。

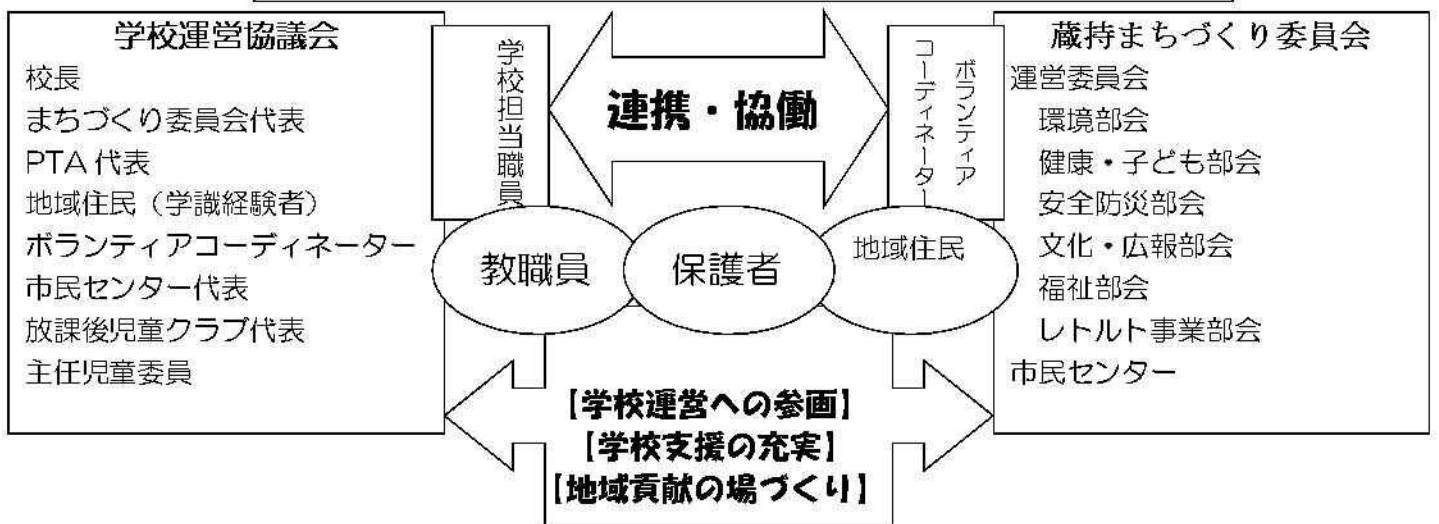
【課題】

- ◆学校支援ボランティアの高齢化等に対応するため、人材の確保とともに、新たな人材発掘のための仕組みの構築を図っていきたい。
- ◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていきたい。
- ◆子どもの主体性を育むための具体的な方策について協議を進めていきたい。
- ◆運営委員や地域の方が児童とふれあう機会を設定し、学校を身近に感じてもらえる体制づくりや、学校から地域へ貢献する場を模索していきたい。

4. 学校運営協議会の組織図

蔵持小学校コミュニティ・スクール

めざす子ども像		
し	①んげんに 考える人になる	②ぶんから とりくむ人になる
あ	③いさつが できる人になる	④した、したいことがある人になる
わ	⑤たしもあなたも 大切にする人になる	⑥かろうと どりよくする人になる
せ	⑦かいに 目をむける人になる	⑧きにんをもって やりぬく人になる



薦原小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月7日（火）9時40分～11時30分〉

- ① 委員による各学級の授業参観（2限目）
- ② 委員の委嘱と委嘱状交付
- ③ 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ④ 学校運営の基本方針について
- ⑤ 学校運営協議会の推進目標と組織図について
- ⑥ 熟議「『ありがとうの学校』をつくるための取組について」

【第2回】学校運営協議会〈令和4年8月18日（木）15時～16時〉

- ① 学校運営協議会委員の皆さんと教職員との懇談会
テーマ：「ありがとうやあいさつが進んで言える子を育てるために何が出来るかを考えよう」

【第3回】学校運営協議会〈令和4年10月25日（火）13時20分～15時00分〉

- ① 委員による各学級の授業参観（5限目）
- ② 1学期の児童アンケート結果、本年度の全国学力・学習状況調査について
- ③ 北中校区「小中一貫教育の推進について」
- ④ 熟議「『ありがとう』の学校づくりをめざし、各部会の活動を具体化させよう」

【第4回】学校運営協議会〈令和5年2月24日（金）13時～14時30分〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 「令和4年度の学校評価書」について
- ③ 来年度の学校運営について
- ④ 熟議「本年度の活動を振り返り、来年度の活動をよりよいものにしていこう。」

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、子どもの様子について交流し、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 小中一貫教育のグランドデザインを示し、取組について周知を図りました。
- ③ 「ありがとう」や「あいさつ」が進んで言える子を育てるためにできることについて、学校運営協議会委員・教職員（計20名）が熟議を行いました。
- ④ 学校課題について共有し、解決策について協議しました。
- ⑤ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



①授業参観



②熟議

(2)【学校支援の充実】

- ① 学校運営協議会からの発信により学習支援ボランティアの人数が増え、グングン先生（4～6年生の補充学習）の支援が拡大しました。
- ② 学校行事（新体力テスト、花＊花ウォークラリー）に地域ボランティアの皆さんに協力いただきました。
- ③ 学校林探検（1年）、サツマイモの苗植え・サツマイモ掘り（2年）、薦原地域の学習・薦原の昔話（3年）、田植え・案山子作り・稲刈り・田んぼの生き物調査（5年）等、地域ボランティアの皆さんに協力いただきました。
- ④ 学校の環境整備作業（花壇の柵作り、運動場・校舎周辺の草刈り、プール掃除）に協力いただきました。
- ⑤ 図書ボランティアの方に、毎週火曜日、読み聞かせをしていただきました。
- ⑥ 登下校の見守り活動を地域ボランティアの方や市民センターの方に協力いただきました。



①グングン先生



③サツマイモ掘り



④花壇の柵作り



③田植え



④草刈



⑤読み聞かせ

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 地域づくり委員会とギフチョウネットワークとの協働で、ギフチョウ保護の活動として、5年児童が中心となり、ギフチョウ観察や産卵調査等を行いました。
- ② 地域の「コモコモふれあい祭」に児童が作ったコースターをプレゼントし、地域の方に「ありがとう」の気持ちを伝えることができました。
- ③ 「子どもを守る家」に協力いただいている地域の方に、児童からお礼の手紙を渡しました。
- ④ 薦原まちの保健室と協働し、4年生が認知症サポーター養成講座を体験しました。
- ⑤ 地域への愛着を深める行事として、「花＊花ウォークラリー」を実施しました。ボランティアの方にも協力いただき、縦割り班に分かれて校区を探検しました。
- ⑥ 3年生が薦原市民センターを見学し、センターの役割について学習しました。また、地域の方から、薦原の昔話について話を聞かせていただきました。
- ⑦ 地域との合同防災訓練として、5・6年生が地域の方と一緒に避難所設営を体験しました。



①ギフチョウ観察



④認知症サポーター
養成講座



⑦地域との合同防災訓練

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校運営協議会からの発信により学習支援ボランティアが6人増え、活動が活発になりました。
- ◇学校運営協議会前に3部会（学校運営部・学校支援部・地域協働部）の部会長会議を開き、それぞれの部会の取組や課題、今後の方向性等を共有することで3部会の活動が深まりました。
- ◇学校支援部の学校支援の活動では、アプリLINEを効果的に活用し、ボランティア間の情報共有や多くの支援につながりました。
- ◇アプリLINEを利用したボランティア間の情報共有は、効果的でありました。
- ◇学校運営協議会委員の皆さんと教職員が懇談会をもったことで、お互いの思いを交流し、「子どもたちのために」どんな支援が必要かについて確認することができました。

【課題】

- ◆地域の方と児童がふれあう機会を設定し、学校を身近に感じてもらえる体制づくりや地域へ貢献する場を模索していきたい。
- ◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていきたい。

4. 学校運営協議会の組織

薦原小学校コミュニティ・スクール

学校教育目標

持続可能な未来を拓く「ありがとう」の学校をつくる

めざす子ども

- ① あ：「ありがとう」や「あいさつ」が進んで言え、基本的な生活習慣が身についた子
- ② り：りこうな子。わかる楽しさ・学ぶ喜びを実感できる子
- ③ が：がちりつながる子。子どもどうしのつながりや地域とのつながりを大切にする子
- ④ と：友だちも自分も大切にする子
- ⑤ う：運動が好きな子

承認
評価
改善

薦原小学校学校運営協議会

学校運営部

めざす子どもの姿の共有
○学校運営協議会
○教育課程・学校評価等
○学校運営への参画
○情報共有

学校支援部

地域のネットワークを生かした学校支援
○学習支援G
・授業サポート
・「グングン先生」
○学校安全G
・登下校の見守り
・校内安全サポート
○学校図書G
・読み聞かせ
・図書室環境整備

地域協働部

地域と子どもが共に育つ場づくり
○薦原地域づくり委員会との連携
・ギフチョウ保護
・コモコモ祭り
・運動会
・文化祭
・黏つかみ
・いもほり
・学校の清掃活動 等

連携・協働

学校
教職員

保護者

地域住民

薦原地域づくり委員会

比奈知小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月1日（水）9時～11時〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付
- ③ 会長・副会長の選出と学校運営協議会組織について
- ④ 学校経営計画・教育課程、教育活動、本校の現状等について
- ⑤ 今後の学校運営協議会について
熟議「ひなちっ子がどんな子どもに育てほしいか」
～そのために、学校と地域と一緒にやれることは～

【第2回】学校運営協議会〈令和4年11月15日（火）14時30分～16時30分〉

- ① 学校及び児童の様子について
- ② 学校アンケート（児童）結果について
- ③ 全国学力・学習状況調査結果について
- ④ 名張中学校区小中一貫教育の現状について
- ⑤ 学校と地域のかかわりについて（地域と連携・協働した学習：CSカレンダー）
- ⑥ 今後のコミュニティ・スクールのあり方について
熟議「ひなちっ子がどんな子どもに育てほしいか」
～それぞれの立場から具体的にどんなことができるか～
- ⑦ 本校若手教職員との懇談

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月24日（金）14時～16時〉

- ① 学校評価について
- ② 本年度の学校運営の成果と課題について
- ③ 「令和4年度の学校評価書」について
- ④ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学力・学習状況調査、学習や生活についてのアンケートをもとに熟議を行いました。
- ② 小中一貫教育のグランドデザインを示し、取組について周知を図りました。
- ③ 保護者の学校教育に関するアンケート結果について協議し、ご意見をいただきました。
- ④ 若手教職員8名が第2回学校運営協議会に参加し、「こんな子どもに育てほしい」など、委員の方々と懇談の場を持つことができました。
- ⑤ 学校評価についてご意見をいただき、「学校運営協議会評価書」としてまとめました。



①熟議



④熟議



⑤学校評価

(2)【学校支援の充実】

- ① 毎週火曜日・木曜日の黒田道、市民センター前（毎週火曜日）での朝の登校支援
- ② 毎週水曜日の朝の読み聞かせ
- ③ 図書の本の修繕・読み聞かせ
- ④ 学校の環境整備作業
- ⑤ 学期の最初と最後の日における青色パトロール（ひなち地域ゆめづくり委員会安全防犯防災部会）



①登校支援



②朝の読み聞かせ



④環境整備

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 1・2・3年生が比奈知市民センターや比奈知文化センターを訪問し、センター内で開催されている教室を見学したり、交流したりする活動を行い、地域の方とのふれあいを深めました。
- ② 2年生が、なばり学の学習として長瀬・滝之原地区を訪問し、それぞれの地域の方からお話を聞き、学習しました。学習後、お礼の手紙を書いて届けたことを受けて、「嬉しいです」というお言葉と励ましのお言葉を地域の方からいただきました。
- ③ 地域交流の一環である「クリスマス会」が、ひなち地域ゆめづくり委員会及び比奈知地域福祉委員会主催のもと開催されました。6年生児童が代表で準備から参画し、参加した子どもたちは、地域の方々と楽しく過ごすことができました。



①地域の施設の学習



②地域学習（なばり学）



③ひなちっ子クリスマス会

3. 成果と課題

【成果】

- ◇授業参観により、子どもたちの姿を共有することができました。
- ◇学校経営方針や児童・学校の状況等について、熟議を通しながら理解を深め合い、学校経営や子どもたちの育成について多様な視点からご意見等いただきました。
- ◇学校と地域との関わりについて、CS カレンダーを作成し委員の方々とは共有できたことで、地域でこんなことができるという取組も紹介していただき、来年度の地域と連携した学習に取り入れることができました。
- ◇第2回学校運営協議会に、若手教職員が参画し「こんな子どもに育ててほしい」など、一人ひとりが思いを伝えることで、管理職だけにとどまらず、本校教職員の姿や思いを

委員の皆さんに共有していただける機会となった。そして、委員から教職員への期待や願いなどを返していただいたことで、参加した教師一人ひとりに、コミュニティ・スクール推進の当事者であるという意識づけになりました。

【課題】

- ◆CS カレンダーをもとにし、地域の方々と児童がふれあう場を設定し、学校を身近に感じてもらえる体制作りや地域へ貢献する場をさらに模索していきたい。
- ◆支援いただく方が限られてきているので、保護者・地域の方々に広く呼びかけていきたい。
- ◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていきたい。

4. 学校運営協議会の組織図

《 構 成 図 》



美旗小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月7日（火）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観2限目
- ② 委嘱状の交付
- ③ 委員自己紹介、会長・副会長の選出
- ④ 令和4年度学校経営方針・学校経営計画について
- ⑤ 美旗小学校150周年について
- ⑥ 図書室の充実について（昨年度の学校運営協議会からの継続内容）
- ⑦ 情報交換

【第2回】学校運営協議会〈令和4年10月24日（月）10時～11時30分〉

- ① 美旗小学校150周年について
- ② 学力の向上について
「学力の向上に向けて、地域、保護者、学校ができること」熟議
- ③ 情報交換

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月21日（火）10時～10時45分〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 美旗小学校150周年事業のまとめ
- ③ 令和4年学校評価書について
- ④ 令和5年度の学校運営について
熟議：「学校教育目標にある『たくましい子』のすがた」

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 学力向上に向けて、地域・保護者・学校のできることをについて熟議を行い「読書の習慣をつけたい」という思いを共有しました。



①授業参観



①学校運営協議会

（2）【学校支援の充実】

- ① 150周年事業の一貫で、美旗まちづくり協議会より図書の寄贈を受けました。
- ② 図書室の蔵書管理や環境整備でPTAのボランティアの支援を受けました。
- ③ 地域ボランティアによる児童用トイレの清掃をしていただきました。



①図書の寄贈



②図書室の蔵書管理、環境整備



(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 地域の防災訓練に高学年が参加し、簡易テントや簡易トイレの組み立てを地域の方と一緒に行いました。
- ② 通学路安全キャンペーンとして、地域の方や保護者と共に地域のごみ拾いを行いました。
- ③ 敬老の日に合わせて、全校児童で地域のお年寄りに向けたお手紙を書き、多くのお礼のお返事もいただきました。



①防災訓練



③お礼のお手紙

3. 成果と課題

【成果】

◇学校運営協議会で学力について熟議ができ、「読書」というキーワードが見いだされたことにより、美旗小学校150周年と重ねて、図書室の充実という具体的な取組につながりました。また、美旗まちづくり協議会の会議などでも、たびたび小学校の図書室や読書習慣の話がなされ、地域を挙げて読書への機運が高まりつつあります。

◇PTAのボランティア活動として「できる人が、できることを」という意識が少しずつ広がりを見せています。PTA本部からの呼びかけで、ボランティアを募っての活動も計画することができました。(新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、事業は実施できませんでした。)

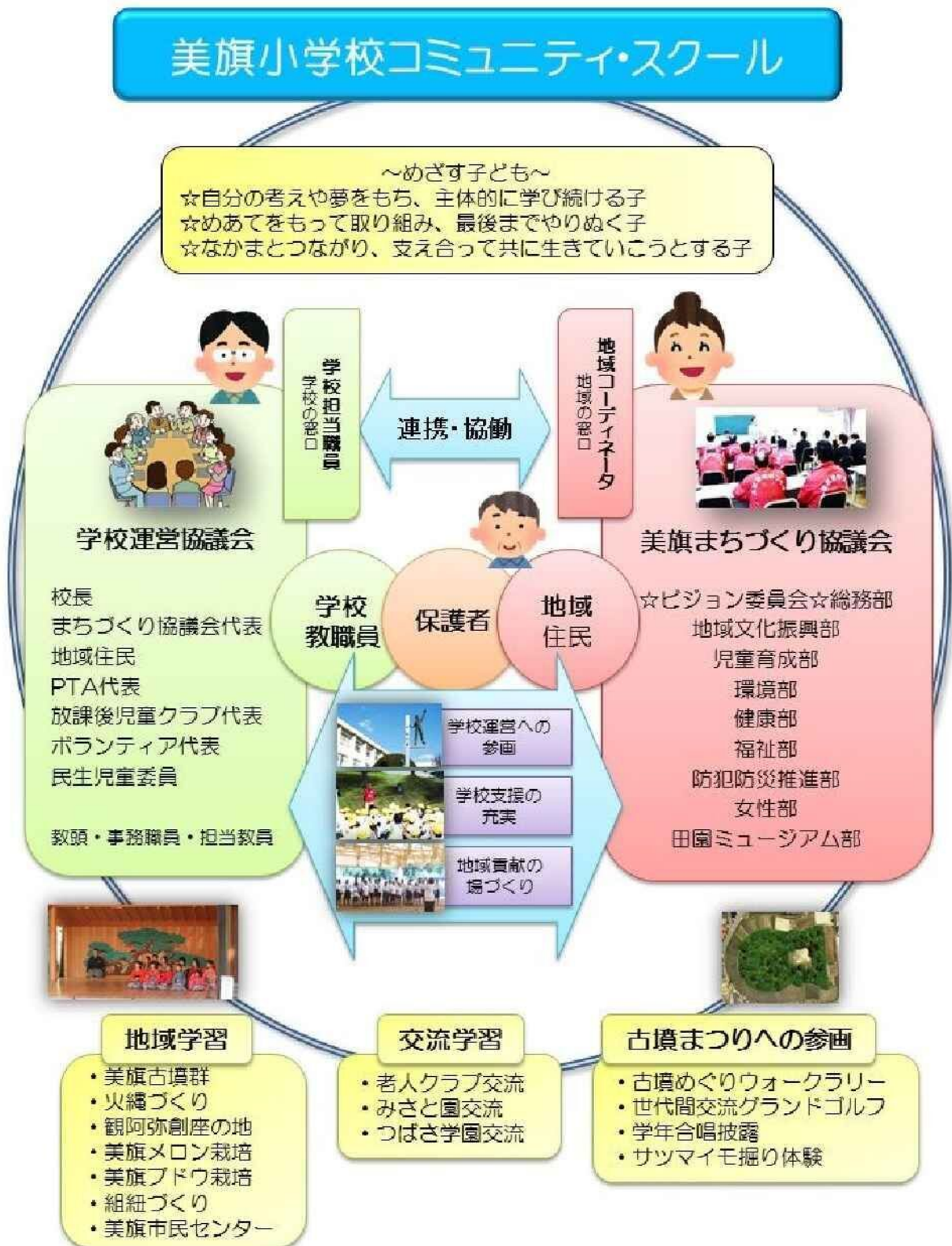
◇教職員に地域や保護者との協働の意識が、広がってきています。

【課題】

◆すべての児童が積極的に活動できる取組作りを進める必要がありますが、学校のカリキュラムの中だけで行うには時間をはじめ制約も多く、課題があります。継続した取組とするためにも、学校運営協議会の中で引き続き議論していく必要があります。

◆図書室の整備は教職員のニーズとも重なり、また、見えやすいものでもあり、取組が進みました。本年度を通じて、コミュニティ・スクールが教職員の中に少しずつ浸透してきています。今後は、更に学校と地域が一体となって、より協働できるコミュニティ・スクールをめざして、取組を進めていきます。

4. 学校運営協議会の組織図



箕曲小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月1日（水）13時30分～15時30分〉

- ① 委嘱状交付
- ② 授業参観
- ③ 昨年度の取組・評価
- ④ 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ⑤ 今年度の取組について（熟議）

【第2回】学校運営協議会〈令和4年10月31日（月）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 児童の様子について
- ③ 児童・保護者アンケート結果について
- ④ 児童の自己肯定感を高める取組について（熟議）

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月21日（火）13時30分～15時45分〉

- ① 授業参観
- ② 「令和4年度学校自己評価書」について
- ③ 来年度の学校運営について
- ④ 学校・家庭・地域が一体となった人権教育の取組について（熟議）

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 「児童の自己肯定感を高める取組」について、学校運営協議会委員・全教職員がグループに分かれて熟議を行いました。
- ③ 児童・保護者アンケートの結果からみえてきた課題について共有し、解決策について意見をいただきました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



②教職員参加による熟議

（2）【学校支援の充実】

- ① 地域の酒米サポーターさんの協力のもと、学校田での米作りを行いました。3年ぶりに田植え、稲刈りを全校で行い、収穫した米を給食でいただきました。
- ② 「みのわ冒険の旅」（全校たて割り班での地域ウォークラリー）を行い、神社、市民

センター、酒造所などの各ポイントでお話をさせていただきました。

- ③ 地域の方々を講師に迎えて昔遊び、陶芸、しめ縄、かかし作りなどの親子体験教室を実施しました。
- ④ 月2回「モーニングプレゼント」として読み聞かせをしていただきました。また、学校図書館の掲示物や本の紹介コーナーの作製など、読書活動充実に向けて支援していただきました。
- ⑤ 収穫したさつまいもを使って焼き芋を作る際には、もみ殻などの材料の調達、芋の準備、火の管理などお世話になりました。
- ⑥ 地域の環境部の方が中心となって、夏休みに環境整備（草刈り等）をしていただきました。また、通学路の草刈りも行ってくださっています。
- ⑦ 校外学習の際には、引率補助をしていただきました。
- ⑧ 夏休み中の児童の居場所づくりとして「はなももクラブ」を2講座開催していただきました。
- ⑨ 「みのわ探検物語」（地域の児童育成部主催）では、児童の読書活動充実のため、名張市立図書館を訪問し、「夏見廃寺」についてお話を聞かせていただきました。
- ⑩ 「ボランティア交流会」を行い、日頃活動する中での様々な思いを交流しました。また、ボランティアの拡充を行うことができました。
- ⑪ 民生委員さんを中心に下校をサポートしていただいています。



①全校稲刈り体験室



⑥全校焼き芋の日



⑩みのわ探検物語（市立図書館にて）

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 「みのわ冒険の旅」の帰路において児童が清掃活動を行いました。
- ② 箕曲地域づくり委員会主催の行事（はなももクラブ・みのわ探検物語）を運営委員会の児童が全校へ向けてPRすることで、参加者を増やすことができました。
- ③ 地域との合同防災訓練を実施し、自分の身を守るだけでなく、地域の一員として積極的に活躍できる人材になることの大切さを知る機会としました。
- ④ 「みのわ文化祭」にて学校田で収穫した米を販売し、箕曲のお米のおいしさをPRしました。



①地域の清掃活動



②防災訓練でのバケツリレー



③箕曲米のPR

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校の強みや課題を共有し、熟議を行うことができました。幅広い視点での意見や示唆をいただけたことで、学校運営がより円滑に進むようになりました。
- ◇教職員が学校運営協議会に参加することにより、児童の様子や感想を伝えながら熟議を

行うことができました。児童の実態を共有することができ、学校・保護者・地域が共に課題解決に向けて意見交換をすることができました。

- ◇感染防止対策を行いながら様々な活動を行ってきました。児童と地域の方とのつながりが深まり、地域行事への参加者が増えてきています。また、児童が「はなももクラブ」「みのわ探検物語」のPRを行うことにより、児童のみならず保護者の参加も増えました。
- ◇来年度の取組の参考となるよう、1年間の活動を「CSカレンダー」にまとめました。

【課題】

- ◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていきたい。
- ◆継続的に支援をいただける人材の確保を更に図っていきたい。
- ◆保護者や地域に向けて学校運営協議会の意義や活動内容をさらに発信していきたい。

4. 学校運営協議会の組織図



錦生赤目小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年5月27日（金）9時40分～12時〉

① 委員による各学級の授業参観（第2校時）

② 協議

（議題）(1)委員の委嘱と委任状の交付

(2)委員の紹介と会長・副会長の選出

(3)学校運営協議会の推進目標

(4)新型コロナウイルス感染症防止対策について

(5)熟議「地域と共に高める防災意識

～11月19日（土）名張市防災訓練に向けて～」について

【第2回】学校運営協議会〈令和4年9月27日（火）13時50分～16時〉

① 委員による各学級の授業参観（第5校時）

② 協議

（議題）(1)今後の新型コロナウイルス感染症防止対策について

(2)本年度の全国学力・学習状況調査について

(3)熟議「錦生赤目地域が あいさつが飛び交う日本一の地域となるよう、地域・保護者・学校としてどのような取組みを進めていけばよいだろうか」について

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月22日（水）15時30分～17時〉

① 議事

（議題）(1)令和5年度の学校行事について

(2)人権教育総合推進地域事業について

(3)赤目中学校区小中一貫教育について

(4)学校評価について

(5)学校運営協議会の成果と今後の課題について

(6)熟議

「令和5年度 CS カレンダーを基に、子どもと地域の関わりが深まる手立てを考えよう」

・子どもの豊かな成長に地域の力を

・地域発展に子どもの力を

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けてのご意見をいただきました。

② SDGsの一環として赤目地域で取り組んでいる「竹あかり」づくりを6年生に伝え、卒業式に飾ろうという取組を行いました。

③ 学力・学習状況調査等の結果から、学力向上に向けた取組みについて協議を行いました。



①授業参観の様子



②竹あかりづくり

(2)【学校支援の充実】

- ① 毎朝のあいさつ運動に地域の方々の協力をいただき、元気な声であいさつを返したり、自分から進んであいさつをしたりする子どもたちが増え、成果があがってきています。
- ② 学校の様々な活動の場面において、学校生活支援ボランティアの活動が広がり、子どもたちが安全で安心できる環境の中で生活し学習することができています。
- ③ 各学年の学習内容に応じ、地域住民や保護者にゲストティーチャーとして学校に来てもらうことで、子どもたちの豊かな体験や学びにつながっています。



②地域の消防団によるプール清掃



②地域ボランティアさんとの
学級園の苗植え作業

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 2・3年生が赤目市民センターや錦生市民センターを訪問し、センター内で開催されている教室を見学や交流したりする活動を行い、地域の方々とのふれあいを深めました。
- ② 赤目消防団の方から防災体験教室を実施していただきました。地域での防災に対する備えの大切さを学びました。
- ③ 市民センター祭りに児童の作品を出品し、地域の方々にも観ていただきました。
- ④ 赤目地区たこあげ大会には、希望する児童が参加し、保護者や地域の方々と一緒に楽しく活動することができました。



② 錦生市民センターの見学



① 防災体験教室

3. 成果と課題

【成果】

- ◇授業参観では、子どもたちの姿を共有することで、学校経営だけでなく子どもの実態や状況についても、第三者の広い視点からの具体的な助言や支援をいただくことができました。
- ◇子どもたちは、保護者も含め地域の方々との様々な出合いや交流をすることで、豊かな体験や深い学びを得ることができました。また、多くの方々が学校に出向いていただくことで、子どもたちを見守る大人の目が増え、学校がより安心して活動できる場所になっています。
- ◇子どもたちの活動が、保護者や地域の大人の行動を促すきっかけとなり、お互いに自分たちの行動が役立っているという有用感を持つことができます。

【課題】

- ◆あいさつ運動の取組については、子どもたちから積極的にあいさつができるようになってきています。小学校だけの取組として終わらないよう、保護者や地域を巻き込んだ活動に発展させることで、地域に根差した持続可能な活動になるよう、盛り上げていく必要があります。そのためには、学校で取り組んでいる活動の内容や意義について、配布物やホームページ等で発信をするだけではなく、地域の方々とも連携を取りながら、学校をより身近に感じていただくような活動や取り組みを行っていく必要があると考えます。

4. 学校運営協議会の組織図



桔梗が丘小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年5月27日（金）18時分～19時分〉

- ① 学校運営協議会について
学校運営協議会の役割及び協議会委員の役割についての説明
- ② 学校運営についての協議
 - ・学校運営協議会の組織について
 - ・本年度の学校経営方針・学校教育計画の説明
 - ・学校や児童の現状や課題について
 - ・その他今後の主な学校行事予定

【第2回】学校運営協議会〈令和4年10月21日（金）10時45分～12時30分〉

- ① 授業参観について
- ② 学校運営について
 - ・学校評価より
 - ・学力調査の結果より
 - ・今後の学校経営方針・学校教育計画について
 - ・その他

【第3回】学校運営協議会〈令和5年3月2日（木）18時～19時30分〉

- ① 学校運営について
- ② 本年度反省
- ③ 次年度に向けて

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員より、「よりそいボランティア」「あいさつ」「地域貢献に向けて」について重視し、子どもたちにつけていかなければならない力についてご意見をいただきました。
- ② 学校運営協議会では、授業参観を通して実際に子どもたちの様子を見てもらうとともに、日頃の地域での様子を含め、学校運営や地域の課題について共有し熟議を重ね、解決策についてご意見をいただきました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 学校運営協議会から、授業中の子どもたちの支援として、地域の方に呼びかけ、「よりそいボランティア」として児童支援に参画していただきました。
- ② 学校運営協議会からの発信により、登下校の見守りボランティアや環境整備ボランティアの方々により、安全な登下校となるよう支援していただきました。
- ③ 学習支援ボランティアを募集し、校内の児童の安全確保及び学習支援をしていただきました。また、1年生の昔あそびへの参画、6年生のミシンの学習での技術支援などに学校運営協議会会長・ボランティアコーディネーターが地域の方々に呼びかけ、人員の確保につながりました。



①登下校の見守り

3. 成果と課題

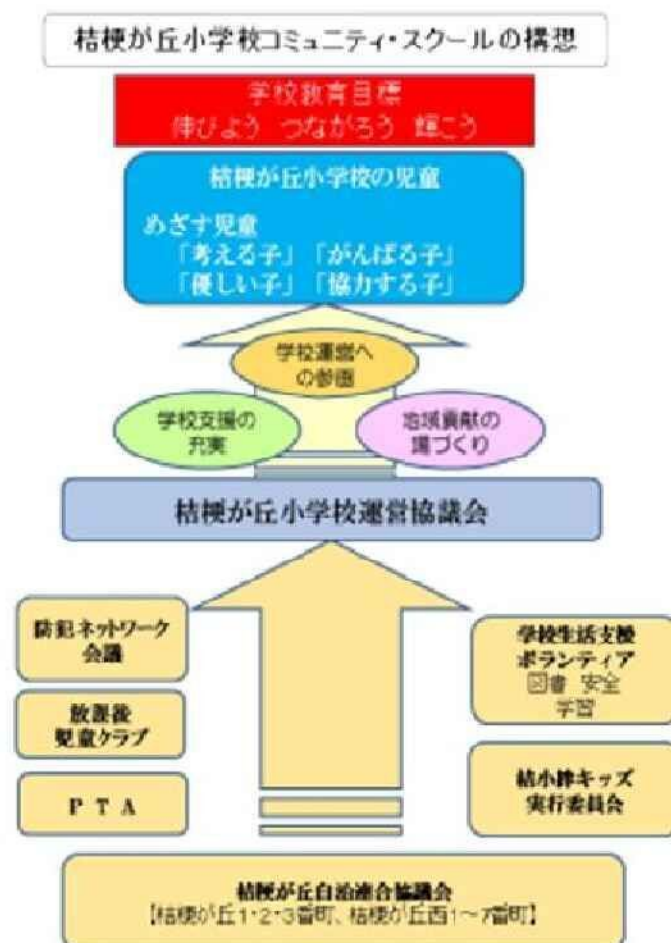
【成果】

- ◇年度当初の学校運営協議会において、地域の人材が学校に協力していただけるような体制の構築に向けて意思統一できたことにより、委員をはじめ、ボランティアコーディネーターの声掛けが積極的に行われ、学習ボランティアやよりそいボランティア、図書ボランティアなど、新規登録をしていただける方が増えました。
- ◇学校の情報を運営協議会で共有し地域会議での発信や通信、ホームページ等でアナウンスすることで、学習支援や環境整備、児童の安全確保といった様々な面で地域から学校運営に参画していただき、児童との交流も増えました。
- ◇CSカレンダーの作成により、学校行事においてボランティアの人数やどのような人材がいつ必要であるのかなどを整理・把握することができた。また、ボランティアの方が参加を検討する際の資料とすることができました。

【課題】

- ◆登下校の安全を確保していただいている「見守りボランティア」の方など世代交代が必要な時期となってきています。ボランティアに参加していただける方の確保が必要です。そのために、地域へ学校の様子や児童の様子を発信するとともに、市民センター等との関係を構築し、地域人材の情報把握を積極的に努め、地域の方が学校運営に参画していただく機会を企画・設定するとともに連絡調整を図る組織作りが重要であると考えています。

4. 学校運営協議会の組織図



桔梗が丘南小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年5月13日（金）13時～15時30分〉

- ① 委嘱状交付
- ② 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③ 授業参観（全クラス）
- ④ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ⑤ 桔梗が丘南小校区の「ひとものこと」に出会う地域学習「大好き ええとこわたしたちの町 桔梗が丘」について
- ⑥ 桔梗が丘中学校運営協議会についての情報共有

【第2回】学校運営協議会〈令和4年11月18日（金）13時10分～15時35分〉

- ① 校内作品展鑑賞
- ② 桔梗が丘南小校区の「ひとものこと」に出会う地域学習について
・上半期の進捗状況と下半期に向けて
- ③ 熟議
・桔南小の子どもの育ちのため家庭・地域・学校でできること
・子どもがインターネット上での被害者、加害者にならないために家庭・学校・地域でできること
- ④ 桔梗が丘中学校運営協議会についての情報共有
- ⑤ その他連絡事項

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月21日（火）13時30分～15時30分〉

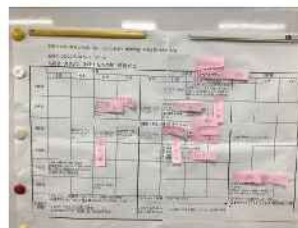
- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
・学校評価アンケート結果（児童・保護者）
・学校自己評価
- ② 小中一貫教育の進捗状況について
- ③ 来年度の取組内容について
・教科担任制について
・「ひとものこと」に出会う地域学習について
・年間行事予定について
・その他
- ④ 令和4年度学校運営協議会評価書の作成について
- ⑤ その他

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて協議を行いました。
- ② 地域学習と教育課程の関連を確認しながら年間計画を立案し、実践しました。（別紙）
- ③ 学校教育の今日的な課題について共有し、解決策について熟議を行いました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。

- ⑤ 小中一貫教育の充実に向け、委員1名を桔梗が丘中学校運営協議会委員と兼務していただき、情報共有を行いました。



①学校運営協議会

①授業参観
校内作品展見学

(2)【学校支援の充実】

- ① 毎日の登下校を、たくさんの地域ボランティアの皆様の見守りや、民生委員の皆様のあいさつ運動によって安全を確保していただいています。
- ② 交通安全協議会を持ち（3月予定）、登下校のボランティアの皆さんから、児童の姿や通学路の危険場所等について意見をいただいています。
- ③ 草刈りや、樹木の伐採・剪定など学校敷地内の環境整備をしていただいています。
- ④ 委員会活動に合わせ、児童と共に花壇の整備や花の育成を支援いただいています。
- ⑤ クラブ活動の囲碁将棋の指導をしていただいています。
- ⑥ 毎週金曜日に、図書ボランティアの皆さんによる読み聞かせと掲示物づくり、また、不定期でオカリナ等のコンサートを開催していただいています。
- ⑦ 学習支援ボランティアとして子どもたちの学びのサポートやソーイング等の支援をしていただいています。
- ⑧ 全学年での地域学習に、ゲストティーチャーとして学校運営協議会委員の方を中心として学びと出会いのサポートをしていただいています。



①登下校の見守り



④花壇の整備



⑥絵本読み聞かせ



⑥図書室掲示物作り

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 地域学習を行うことによって、子ども達が地域に出向く機会が生まれ、また、ゲストティーチャーとして地域の方が学校に来てくださる機会が生まれます。こうした営みの中で、子どもを通して地域に活気が訪れるとの声が上がっています。
- ② 地域学習として4年生で「桔梗南の防災を知る」の活動を行いました。地域の防災コーディネーターさんから避難所の案内や防災倉庫を教えていただき、その経験をもとに11月19日の名張市総合防災訓練で各一時避難所から学校（指定避難所）に登校することができました。また、当日は、中学生や地域の方とともに避難訓練をすることができました。「桔梗南の防災を知る」活動は他学年への発表を行いました。この学習を継続し、地域の防災の担い手として中学校での学習に発展していくことを期待しています
- ③ 6年生が3学期に地域の一員として地域のクリーン作戦を行いました。6年間見守

ってください地域への恩返しを行う活動として今後も地域学習に取り入れていきたいと考えています。

- ④ 桔梗が丘自治連合協議会の「子どもたちと地域の絆づくり事業」では、児童と共に花を育て、地域の方に配付していただいています。
- ⑤ 本校卒業生のシンガーソングライター平井堅さん作曲の「桔梗が丘」と校歌を、保護者や地域の皆さんで歌い、ビデオレターとして編集しました。そのビデオを「6年生を送る会」で子ども達に披露するとともに、インターネット上でも限定的に公開しました。歌を歌うという活動で地域・保護者が一体となることができました。



①地域学習実施後のお礼状の贈呈

②総合防災訓練

3. 成果と課題

【成果】

- ◇図書館の整備や読み聞かせ等の支援により、児童が本に接する機会が増えるとともに読書量も増え、児童にとって居心地のいい場所になっています。
- ◇登校時の見守りや下校時の付き添いにより、児童は安全に登下校することができます。
- ◇季節ごとに花壇の整備をしていただいていることにより、子どもたちは心地よい環境の中で学習に取り組むことができます。
- ◇クラブ活動において、教員が指導できない内容を開設することができます。
- ◇学習支援に入っていることにより、きめ細やかに児童の学習を進めることができます。
- ◇地域の防災学習と桔梗が丘第3ブロック（桔梗南小校区）防災委員会と連携した取組を行いました。「防災」という課題によって教育活動と地域活動が結びつくことができました。

【課題】

- ◆さらに充実した学校教育活動ができるよう、マチコミメール等を活用して、学校支援ボランティアの要請を呼びかけていきます。
- ◆学校運営協議会の中で保護者世代の方の活動を充実させていく必要があります。PTA活動との強い連携が必要です。熟議の場では「家庭・地域・学校」ができることを討議し、取組につなげていく必要があります。
- ◆今年度作成した「地域学習」の取組を継続して行い、コミュニティ・スクールのテーマ「大好き ええとこ わたしたちの町 桔梗が丘」に迫っていく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図

